

令和元年度 大学見学会 報告

梅雨明けの待たれる7月24日、128名の保護者の皆様、校長先生をはじめ10名の先生方にご参加いただき、4台のバスを連ねて大学見学に行ってきました。移動の車中では、保護者同士の近況報告、また、同乗の先生方から進学のアドバイスなど、活発な情報交換がなされ、有意義な時間となりました。

*東京大学（本郷キャンパス）

○**大学概要**：1877年、我が国初の官立大学として創立。創立以来、国内外の様々な分野で指導的役割を果たしうる「世界的視野を持った市民エリート」を育成することが、社会から負託された大学の使命であると心得、日々研究教育活動を実践している。

○**見学内容**：バス到着後、もと加賀藩江戸屋敷の御守殿門であった赤門をくぐり工学部へ移動し、知花武佳工学部准教授による「不確実性に対する理解」というテーマの講義を受けました。次に、4名のOGより、受験勉強や高校時代にしておけばよかったこと、親の子どもへの接し方についての体験談を聞かせていただきました。その後、安田講堂近くの売店で買い物や構内見学を楽しみました。

○**昼食**：東天紅上野店

*慶應義塾大学（三田キャンパス）

○**大学概要**：1858年に福澤諭吉が開いた蘭学塾を起源とする。1920年、大学令により旧制大学となった、日本最古の私立総合大学のひとつ。「独立自尊」を教育の基本に置き、社会公共のために協力して事を行うという「義」が「義塾」という名前の由来となっている。

○**見学内容**：最初に、高久隆太商学部教授より大学概要を説明していただきました。その後、東大と同じく試験中にもかかわらず駆けつけてくださった3名のOGに体験談を伺い、質疑応答させていただきました。

帰りの車中では、参加者に見学後のアンケートを実施しました。「知花准教授の講義やOGの体験談がとてもよかった」「先輩方が素敵すぎる」「自由見学の時間がもう少しほしい」「子どもが親に言われたくない言葉を言っていたので気を付けたい」「成績が悪かった生徒の成功体験も聞いてみたい」などの意見が寄せられました。

文責：進路指導協力部



東京大学（安田講堂）



慶應義塾大学（図書館・旧館）